



楷

第五十四号

岡山大学
 附属図書館報
 OKAYAMA UNIVERSITY
 LIBRARY BULLETIN

KAI
 No.54
 2012
 FEBRUARY

<写真>

松かづら

山又ハ藪ノ中ニ木ニ着テハ
 ヘノボル實ハ複ノ實ニ似タ
 リ熟スルニ随テ黒シ

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」より（岡山大学附属図書館池田家文庫所蔵）

— 目 次 —

- 貴重書の活用（資源植物科学研究所図書分館長 馬建鋒）…………… p.2
- 学内主要プロジェクト研究成果および博士学位論文全文公開の原則義務化について
 （情報管理課）…………… p.4
- 新しくなりました！ ～CiNii Books & 国立国会図書館サーチ～
 （学術情報サービス課）…………… p.5
- 第 52 回中国四国地区大学図書館研究集会 参加報告
 （利用者支援グループ 難波麻紀）…………… p.6
- マスカット ……………… p.7
 資源植物科学研究所分館企画展示、ほか
- 会議・研修・編集委員会から ……………… p.16

貴重書の活用

馬 建 鋒

倉敷美観地区の近くにある岡山大学資源植物科学研究所は大正3(1914)年7月に当時の倉敷紡績株式会社社長・大原孫三郎によって設立された、財団法人大原奨農会農業研究所を前身とします。昭和4(1929)年3月に財団法人大原農業研究所に改められ、そして、昭和26年に岡山大学に無償寄付され、岡山大学農業生物研究所となりました。その後、数度の改組があり、昭和63(1988)年には、資源生物科学研究所に、そして平成22年に現在の資源植物科学研究所となり、現在に至っています。

研究所の100年近くの歴史の中で、日本の農学の基礎を築いた人材が多く輩出し、世界レベルの研究成果もたくさん世の中に出してきました。これらに図書館の果たしてきた役割は非常に大きいように思います。本史料館(岡山大学図書分館)は研究所設立7年後の1921年に農業図書館として設置されました。これには創立者である大原氏の「農業研究所職員の研究を促進し、かつ、広く農学の発展に寄与する」という思いが込められていました。当時莫大な私財を投じて、世界各国の農業・植物学に関する図書を収集させました。特筆すべきは、ドイツのライプツヒヒ大学教授 W. Pfeffer 博士(1845-1920)の蔵書と中国の農学に関する漢籍です。ペッフアー博士は世界第一の植物生理学者であり又近代植物生理学の基礎を築いた第一人者です。博士の死の翌年、その蔵書11,730冊が売り出され、大原氏の決断でこれらの蔵書をまとめて購入しました。また大原氏の命により、大正12年11月、研究所員西門義一および嘱託職員の松本圭一両氏が中国に渡り、農書と本草書のほか、動植物や治水に関する文献および叢書の類など、全4,720冊を収集しました。さらに大正10~13年にかけて継続的に近世の刊本を中心に、明治以降の刊行物や漢籍及び漢籍の和刻本全2,576冊を収集させました。これらの貴重図書は現在史料館の「ペッフアー文庫」、「大原漢籍文庫」、「大原農書文庫」となっており、その故、この図書分館は「史料館」と名付けられました。

これらの貴重図書は当時の研究所員の研究にとって大変参考になったと想像します。科学雑誌、特に外国の科学雑誌や書籍が入手困難な時代に、研究所にこのような豊富な資料があるのは所員によって大変恵まれた環境だと言えます。実際、この時期に日本の農学の基礎を築いた人たちをこの研究所から輩出しています。(詳しくは、連載 植物研ゆかりの偉人たちhttp://www.rib.okayama-u.ac.jp/profile/profile_ijinden.htmlをご参照ください)。

しかし、時代が電子ジャーナルに変わり、自分のパソコンから最新の論文を取り寄せるようになりました。貴重図書も次第にみんなの目に触れる機会が少なくなりました。しかし、「温故知新」という言葉にあるように、昔を知ることで、新しい知識を得ることがあります。そこで、2009年から貴重図書の活用法の一つとして、貴重書の展示を企画してきました。これまでに春休みと夏休みの期間を利用して、毎回テーマを決めて下記のように計6回開催してきました。その展示は所員だけではなく、社会にも開放し、毎回所外から200名以上の来訪者があり、大

褒好評をいただいています。リピーターも増え、多くのファンを獲得しています。昔の美しい植物画や食品などを見て感動して帰る人も多いです。また展示したものの貸し出しの要望もありました。将来、大原美術館と並んで、「植物の大原美術館」となるように貴重図書の活用法をさらに考えていきたいと思ひます。



第1回



第2回



第3回



第4回



第5回



第6回

(ま・けんぼう 資源植物科学研究所図書分館長)

学内主要プロジェクト研究成果および博士 学位論文全文公開の原則義務化について

情報管理課

大学研究成果公開の潮流

Budapest Open Access Initiative (2002 年) を契機として、学術情報をインターネット上で誰でも無料でアクセスできることを目指すオープンアクセス運動が盛んになっており、具体例としてはオープンアクセスジャーナルの発行や、セルフアーカイビングの動きがあります。また、大学の教育研究成果を積極的に公開することにより、社会に貢献し、説明責任を果たすことが世界的に求められています。

このような流れを受け、セルフアーカイビングのための 1 つの方法として、世界中で機関リポジトリと呼ばれるものが立ち上がっています。これは、機関内で生産された研究成果などを電子的に保存し、インターネット上で無償公開をするシステムで、世界で約 2,700(*1)、国内で約 150(*2)もの機関リポジトリが立ち上がっています。海外ではアメリカ国立衛生研究所のように研究成果の機関リポジトリへの登録義務化を進めているところもあります。

*1 ROAR:Registry of Open Access Repositories(<http://roar.eprints.org/>)による

*2 国立情報学研究所(<http://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>)による

岡山大学学術成果リポジトリ (<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/>)

岡山大学でも機関リポジトリとして「岡山大学学術成果リポジトリ」を 2006 年から公開しており、学内の教育研究成果を収集蓄積し、インターネット上で無償公開しています。

2012 年 1 月末現在、登録論文数は 29,754 件、2011 年 4 月～2012 年 1 月の全文ダウンロード数は 55,069 件にのぼっています。

学内主要プロジェクト研究成果および博士学位論文全文の公開を原則義務化に

岡山大学では 2011 年 11 月の役員政策会議で教育・研究成果の情報発信の拡充のために、本学の学内主要プロジェクトの研究成果および、学位論文（博士）全文のインターネットによる無償公開を原則義務化することが決定され、2011 年 12 月部局連絡会で報告されました。

これを受け、学内主要プロジェクト研究成果および学位論文（博士）全文について岡山大学学術成果リポジトリに登録することが求められます。

学術雑誌等に掲載された論文については、出版者のポリシーを図書館で確認し、可能なものを登録公開します。Elsevier 社、Springer 社などを始め多くの出版者が機関リポジトリへの掲載を認めています。

公開することによる著者のメリット

公開された論文は Google など一般的な検索エンジンを始め、Google Scholar や GeNii（国立情報学研究所作成のデータベース）など学術的なデータベースからの検索が可能になり、利用の拡大および被引用回数の増加が期待できます。

また、有料学術雑誌に掲載されている論文でも非購読者からの利用が可能になり、一般の人や分野外の人を対象とした広報活動にもつながります。

新しくなりました！

サイニー ブックス

～CiNii Books & 国立国会図書館サーチ～

学術情報サービス課

皆さんが研究やレポート作成のために必要な文献を探すとき、まず初めに岡山大学附属図書館の蔵書を検索することでしょう。その結果、残念ながら学内には求める文献が無かった場合、次に頼りになるのが国立情報学研究所の「NACSIS Webcat」と国立国会図書館の「NDL-OPAC」でした。「NACSIS Webcat」では全国の大学図書館等の蔵書をまとめて検索することができます。「NDL-OPAC」は国立国会図書館の蔵書目録です。国立国会図書館は日本で唯一、法律で定められた納本制度によって、日本国内で出版された図書を網羅的に収集している図書館ですから、理屈の上では日本で出版された本は全て「NDL-OPAC」で検索できることになります。この便利な二つのサービスが今年度の秋から冬にかけてリニューアルされました。

国立情報学研究所の「NACSIS Webcat」は平成24年度末をもってサービスを終了する予定で、平成23年11月にその後継サービスとなる「CiNii Books」(<http://ci.nii.ac.jp/books/>)が公開されました。「NACSIS Webcat」と同様に全国の大学図書館等約1,200館が所蔵する、約1,000万件(のべ1億冊以上)の本の情報や、約150万件の著者の情報を検索することができます。新しく特定の地域や図書館に絞り込んだ検索もできるようになりました。また、「CiNii Articles」(<http://ci.nii.ac.jp/>)に本文が収録されていれば、リンクをたどり本文まで表示することも可能です。

国立国会図書館のサービスは平成24年1月にリニューアルされました。「国立国会図書館サーチ(NDL Search)」(<http://iss.ndl.go.jp/>)が、サービスの出発点となります。国立国会図書館の蔵書だけでなく、都道府県立図書館・政令指定都市の市立図書館の蔵書、国立国会図書館が収録している各種のデジタル情報、新聞、雑誌記事、図書の目次情報(一部分のみ)なども、まとめて検索することができます。

附属図書館では、皆さんが「CiNii Books」や「国立国会図書館サーチ」を利用して見つけた他館所蔵の文献を取寄せるサービス(有料)もあります。詳しくはサービスカウンターへお問い合わせください。

第52回中国四国地区大学図書館研究集会 参加報告

難波麻紀

日時：平成23年10月13日～14日 会場：愛媛大学総合情報メディアセンター

この研究集会は「電子書籍と大学図書館の上手なつきあい方～なにがどう変わる？期待と不安」をテーマとして大学図書館職員を対象に行われました。電子書籍をどのように取り込み、電子書籍により図書館をどのように変えてゆくか、大学図書館と電子書籍の関わり方について学んだことを報告します。

講演「電子書籍政策の現状とこれからの大学図書館」湯浅俊彦氏（立命館大学文学部）

米国発の企業によるクラウド型出版コンテンツデータベースサービスと世界的規模での電子書籍流通のプラットフォーム構築に対抗して、日本では電子出版ビジネス政策の構築と図書館政策が国として取り組むべき課題となっている現状についての説明がありました。国立国会図書館では、所蔵資料を中心に図書館への送信サービス、所蔵資料の大規模デジタル化と電子納本制度による本文検索サービスなどが検討されています。今後は、大学図書館の電子資料の和書コンテンツとして、国会図書館からの所蔵資料送信サービスによる絶版書籍の送信サービス、障害者のための著作物利用が期待されています。大学図書館の役割は、資料の体系化と信頼性のある情報提供・情報生産、資料の長期保存を行い、利用者の知る自由を保障することを電子出版時代においても実践することにあることがわかりました。

講演「印刷業界から見た電子書籍と図書館」中西秀彦氏（中西印刷株式会社）

図書館は電子化により、機関リポジトリなど、情報の受信から発信へと役割が変わってきており、教育と研究のサポート係として、図書館と印刷業界が相互協力することが印刷業界から期待されています。また、電子書籍保存は図書館が重要な役割をはたしますが、電子データは一定期間ごとに最適な形式に変換して移し替える必要があることがわかりました。未来の人類に現在の電子文化を伝えるため今なにをすべきか考える必要があると感じました。

分科会「利用者の視点からみた電子書籍サービス（情報リテラシー）」

利用者を対象とした電子書籍サービスの広報とリテラシー教育の必要性について、また電子書籍に期待することを話し合いました。分科会の報告として、電子書籍サービスについて、持続性やコンテンツなど、問題があれば図書館から要望をあげることが必要であり、利用者へのアドバイスやニーズに対応すること、紙媒体と電子媒体の共存をはかることが図書館員に求められている、とのまとめが行われました。参加者と意見交換できて、大変勉強になりました。

（なんば・まき 利用者支援グループ）

マスカット

資源植物科学研究所分館企画展示について

資源植物科学研究所分館では、平成24年3月1日(木)～5月12日(土)に、企画展示「おいしいしょくぶつ」を開催しています。

所蔵している貴重図書に広く触れていただくため、さまざまな展示を企画していますが、第6回目として、食用植物を中心とする日本の食文化に焦点を当てた展示を企画しました。内容は、江戸・明治時代の貴重図書の現物展示と合わせて、穀物、野菜、果物といった食材としての植物の図版を写真パネルにして、解説を加えたものです。是非この機会にご来場ください。



中学生職場体験の受け入れについて (中央図書館)

2つの中学から職場体験を受け入れました。生徒さんには、本の貸出・返却や目録業務など大学図書館の仕事を体験してもらいました。初めは緊張気味でしたが、徐々に雰囲気慣れて積極的に仕事に取り組んでくれました。

- ・岡山市立中山中学校、4名、平成23年11月9日(水)～11日(金)
- ・岡山大学附属中学校、4名、平成24年2月16日(木)～17日(金)



中山中学校 (本を返却)



附属中学校 (カウンター)

平成23年度 第3回 SPARC Japan セミナー「学術情報流通の新たな展開：研究者・学会とオープンアクセス」を開催

岡山大学附属図書館では、平成24年1月31日国立情報学研究所(NII)との共催でSPARC Japan セミナー「学術情報流通の新たな展開：研究者・学会とオープンアクセス」を岡山大学創立五十周年記念館で開催しました。

物質・材料研究機構の轟教授から「研究者のアウトリーチ活動としてのセルフアーカイビング」、日本動物学会の永井事務局長から「学会と機関リポジトリ：情報発信は強化できるか」と題して研究者・学会等それぞれの立場から学術情報流通の促進のための学術論文のオープンアクセス化についての意義や成果について講演いただきました。

その他NIIから新しいサービスの紹介、パネルディスカッションと内容の充実したセミナーとなりました。

本セミナーは大学図書館との共催及び地方開催は初ということもあり、西日本を中心とした各地から図書館関係者、研究者など44名の方が参加され、後半のパネルディスカッションでは学術論文を公開・提供している機関リポジトリの広報活動や拡充について等活発な意見交換が行われました。



附属図書館公式 Twitter 開始について

広報の一環として平成23年11月7日より公式Twitter(試行)を開始しました。お知らせしている主な内容は、開館時間、サービス、新着図書、イベントなどの紹介です。

- ・ <http://twitter.com/#!/OkayamaUnivLib> (図書館ホームページよりリンク)
- ・ ツイート数：296件、フォロワー数：224人 (平成24年2月22日現在)



アイコン



ホームページ

平成23年度第2回岡山大学学生と附属図書館長との懇談会(中央図書館)

平成23年12月13日(火)に理学部、工学部、自然科学研究科(工)の学生8名の参加を得て、中央図書館学生館長懇談会を開催しました。平成22年夏から学部ごとに参加者を募るようになり、今回が4回目で津島地区全学部学生の方が参加されたこととなります。懇談会では様々

なご意見をいただきました。カウンター返却 Box の設置、絵本の購入等早々に実現できたこともあれば、書庫利用の自由化のように法令により実現できないこと、開館日・時間の延長等調整に時間がかかることもあります。平成 24 年度開館予定では頂いたご意見をほんの少しですが、実現できました。24 年度以降も懇談会が予定されています。学生のみなさまのご意見が図書館を進化させますので、使いやすい図書館になるよう懇談会にぜひご参加ください。

平成 23 年度「池田家文庫 子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(冬) 報告

平成 24 年 2 月 19 日 (日) に岡山大学教育学部と附属図書館の共催による「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」(平成 23 年度冬)を開催しました。通算第 11 回目となる今回は晴天に恵まれ、参加者の小学生 12 名(同伴者と併せて合計 28 名)が、教育学部の学生とともに紙芝居や巨大複製絵図を使ったクイズ、絵図のカードを使った後楽園の散策を楽しみました。



岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう」報告

(公開講座：池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう 5 回シリーズ)

第 3 回 「絵図をもって城下町を歩こう」

日時：平成 23 年 9 月 24 日 (土) 13:00～15:00

場所：岡山城周辺

講師：岡山市教育委員会文化財課
乗岡実課長

参加者：19 名



第 4 回 「絵図をもって旧山陽道を歩こう」

日時：平成 23 年 10 月 29 日 (土) 13:00～15:00

場所：表町商店街付近

講師：岡山市デジタルミュージアム
猪原千恵学芸員

参加者：19 名



第 5 回 「絵図をもって岡山後楽園を歩こう」

日時：平成 23 年 11 月 26 日 (土) 13:00～15:00

場所：岡山後楽園

講師：岡山県郷土文化財団 万城あき研究員
参加者：22 名

平成23年度ブックハンティング報告（中央図書館）

平成23年度のブックハンティングは、丸善とTRCによって開催された「図書館のためのブックフェア2011」を、12月1日の午後に訪れました。会場はCONVEX岡山小展示場、岡大からはやや遠方でしたが、会場には、新刊を中心に17,000冊の図書が一同に展示、松岡正剛氏による松丸本舗「情報日本」も出張展示されていました。

硬派な専門書の他、寺山修司の著作集や、全国の歴史散歩シリーズなど、多くの学生に親しまれそうな図書も多数選ぶことができました。ご協力をいただいた皆様ありがとうございます。

なお、今回のブックハンティングで購入した図書を平成24年2月より中央図書館本館1階の特設コーナーにて展示中です。ぜひ、手にとってご利用ください。



データベース講習会・オリエンテーション開催報告（中央図書館）

平成23年9月～11月にかけて以下のとおり実施し、延べ83名の参加がありました。

<データベース講習会>

実施日：平成23年9月27日～28日

実施回数：4回

参加人数：48人

内容：SciFinder（Web版）

<新任教員向け図書館オリエンテーション>

実施日：平成23年10月5日

実施回数：1回

参加人数：2人

内容：中央図書館利用案内、図書・雑誌の購入について、文献複写・相互貸借について、他

<図書館オリエンテーション（秋期新入生対象）>

実施日：平成23年10月13日

実施回数：1回

参加人数：3人

内容：中央図書館利用案内、蔵書検索のデモ、館内ツアー

<農学部環境生態学コース後期授業図書館オリエンテーション>

実施日：平成23年11月7日

実施回数：1回

参加人数：26人

内容：中央図書館利用案内、蔵書検索（実習）、予約方法と学外からの資料取り寄せの方法、データベースの紹介

<文献入手講座入門編>

実施日：平成23年11月9日

実施回数：2回

参加人数：4人

内容：文献探索概説、文献情報の読み方と書き方、データベースの使い方、学外からの資料取り寄せの方法、他

データベース講習会・オリエンテーション開催報告（鹿田分館）

鹿田分館では、平成23年10月にデータベース講習会を、平成24年1月にオリエンテーションを開催し、延べ79名の方にご参加いただきました。

データベース講習会

	日時	講習会名称	参加者数
1	10月12日（水）18：00-19：00	文献検索の基礎	4
2	10月14日（金）18：00-19：00	PubMed	8
3	10月17日（月）18：00-19：00	医中誌 Web	2
4	10月24日（月）18：00-19：00	CINAHL	1
5	10月31日（月）18：00-19：00	EndNote Web	7
計			22

オリエンテーション

	日時	対象	参加者数
1	1月25日（水）14：00-15：00	順正高等看護専門学校 実習生	57
計			57

データベース講習会開催報告（植物研分館）

平成23年9月にデータベース講習会を実施し、5名の参加がありました。

実施日：平成23年9月28日

実施回数：1回

参加人数：5人

内容：SciFinder（Web版）

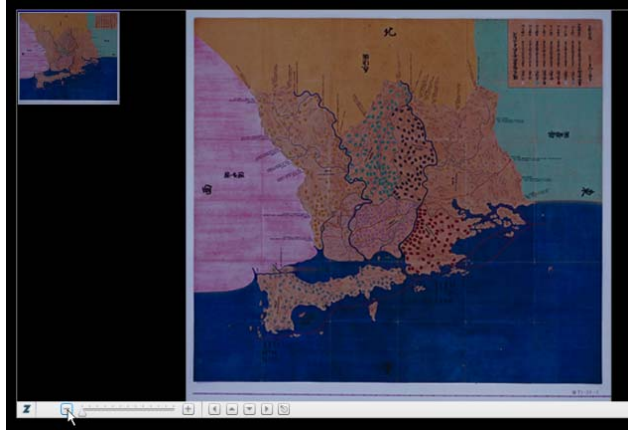
池田家文庫公開システムをリニューアル

平成 23 年 12 月 7 日に池田家文庫絵図公開システムを新システムに移行しました。これまで、高精細画像を表示するには専用の Viewer をダウンロードする必要がありましたが、新システムではこれが不要となり、Web ブラウザで閲覧することが可能となりました。

この画像データについては、岡山県立図書館との連携により作成しています。現在公開しているのは 600 点余りですが、今後も継続して作業を行い、公開可能な画像を増やしていく予定です。

また、絵図公開システムの移行に合わせ、諸職交替検索システムおよびマイクロフィルム目録検索システムについても新システムに移行して公開しています。

池田家文庫公開システムは以下の URL から利用できます。



- ・池田家文庫 絵図公開データベースシステム
<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/ezu>
- ・池田家文庫 マイクロフィルム目録データベース
<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/micro>
- ・池田家文庫 諸職交替データベース
<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/shoshiki>

国立国会図書館電子化の学位論文（博士）全文公開について

国立国会図書館は平成 3(1991)～12(2000)年度までに送付された学位論文（博士）全文の電子化を平成 22 年度に実施し、大学と国立国会図書館が協力して学位論文著者に利用許諾の確認を行いました。

今年度、国立国会図書館から電子化された学位論文全文のうち、著者から本学にデータ譲渡の許諾が得られたものについて電子データが本学に提供され、附属図書館で著作権等の確認を行い、確認できたものから岡山大学学術成果リポジトリ (<http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp>) で公開を始めています。



現在約 120 件を登録・公開しており、今後も確認ができたものを順次追加していく予定です。

池田家文庫絵図展報告

テーマ：江戸時代の巨大手描き絵図—国絵図復元！

期日：平成23年10月22日（土）～11月6日（日）（開催日：14日間）

会場：岡山市デジタルミュージアム 5F 展示室

入場者数：2,463名

記念行事

日時：10月23日（日）

記念講演会

テーマ：国絵図復元の成果

講師：荒井経（東京芸術大学）

パネルディスカッション

テーマ：国絵図復活

パネラー：荒井経（東京芸術大学

大学院）、杉本史子（東京大学史料編纂所）、佐藤賢一（電気通信大学）、

中村裕美子（筑波大学大学院）、青木充子（国絵図研究会）

入場者：54名



企画・展示（中央図書館）

中央図書館ではミニ展示を行っています。館内でミニ展示を見かけた際は、ぜひ手にとってみてください。

平成23年10月から現在まで、ミニ展示を以下のテーマで行いました。

- ・10月 「『読書』『スポーツ』『食』の秋を読む」
本館1階（新館入口近く）にて
- ・11月 「『働く』を読む」
本館1階新聞コーナーにて
- ・12月 「2011年を振り返る」
本館1階（新館入口近く）にて
- ・2月 「ブックハンティング」
本館1階（新館入口近く）にて



新入生オリエンテーションのお知らせ（中央図書館）

中央図書館では新入生の皆さんを対象に図書館オリエンテーションを開催します。

大学生活では、レポートや授業などで図書館を使う機会がたくさんあります。ぜひこの機会に、図書館の利用方法をマスターしてください。

日程：平成24年4月9日（月）～13日（金）の5日間

毎日1回開催

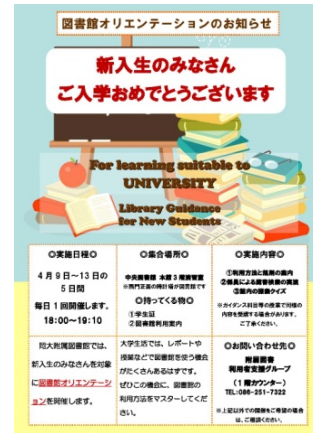
18：00～19：10

場所：中央図書館 本館3階演習室

内容：①利用方法と規則の案内

②係員による蔵書検索の実演

③館内の探索クイズ



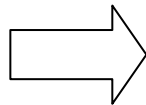
※学生証と附属図書館利用案内を忘れずにお持ちください。

図書館利用証の切替について（中央図書館）

平成24年4月より附属図書館が発行しているOCR Library Card（ラミネート）が使えなくなります。

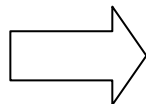
<IC 職員証が付与されている方>

図書館の入館、資料の一般貸出、研究室貸出は職員証でご利用ください。お手持ちのOCR Library Card（ラミネート）はハサミを入れて破棄してください。



<IC 以外の職員証が付与されている方>

有効期限内はOCR Library Card（ラミネート）をご利用ください。4月以降、磁気カードの図書館利用証を発行します。



中央図書館本館2階閲覧室の机をリニューアル

中央図書館本館2階の東側閲覧席に一人用机が増えました。

一人用机は、かねてより学生・館長懇談会や図書館利用者（学生）アンケートにて多くの希望をいただいていたいました。どうぞご利用ください。



中央図書館遡及入力

中央図書館では、事業推進等経費（600万円）等を活用して、75,000冊の資料を新たにOPAC（オンライン蔵書検索）で公開しました。今年度は書庫に保存している、哲学、工学、産業、文学分野の洋書を中心に入力をしました。書庫の資料のご利用については、中央図書館カウンターにお問い合わせください。

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

〈中央図書館〉※教員業績コーナー（本館1階）に配架

古松崇志 [社会文化科学研究科]

契丹（きったん）：草原の王朝：美しき3人のプリンセス：The splendor of the Khitan dynasty
——西日本新聞社，2011.9 (F222/K)

遼文化・慶陵一帯調査報告書：京都大学大学院文学研究科21世紀COEプログラム
「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」
——京都大学大学院文学研究科，2011 (F222/R)

遊佐 徹 [社会文化科学研究科]

中国近代文化史研究：時間・空間・表象——岡山大学文学部，2011.2 (222.06/Y)
蠟人形・銅像・肖像画：近代中国人の身体と政治——白帝社，2011.8 (222.06/Y)

〈鹿田分館〉

仲井雪絵 [大学院医歯薬学総合研究科]

「マイナス1歳」からはじめるむし歯予防——オーラルケア，2011.4 (497.9/NA)

(敬称略五十音順)

会議

◆学外

- 23.9.10 特定非営利法人日本医学図書館協会第82回総会分科会（於 日本科学未来館）
- 23.9.14 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)版元提案説明会（於 関西大学）
- 23.11.17～18 第47回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会（於 鳥取大学）
- 23.11.21 第14回国立国会図書館と大学図書館との連絡会及び第12回学位論文電子化に関するワーキンググループ（於 国立国会図書館関西館）
- 23.12.1 国立大学図書館協会秋季理事会（於 広島大学）
- 23.12.8 第71回国公立大学図書館協力委員会（於 筑波大学東京キャンパス）
- 24.2.7～8 平成23年度国立大学図書館協会シンポジウム（於 東京大学）
- 24.2.9 平成23年度目録システム/ILLシステム講習会担当者会議（於 国立情報学研究所）
- 24.2.16～17 平成23年度国立大学図書館協会地区協会助成事業ワークショップ同事業委員会（於 広島大学）

◆学内

- 23.10.26 平成23年度第3回附属図書館運営会議
- 23.12.7 平成23年度第3回附属図書館運営委員会
- 23.12.9 国立大学図書館協会・中国四国地区部課長会議
- 24.2.22 平成23年度第4回附属図書館運営委員会

研修

- ・第10回メンタルヘルスクライシスマネジメント研修会
参加者 大元 利彦、山根 博（23.9.8）
- ・平成23年度大学図書館職員短期研修
参加者 藤井 香子、中 京子（10.4-7）
- ・第52回中国四国地区大学図書館研究集会
参加者 難波 麻紀（10.13-14）
- ・平成23年度学術情報リテラシー教育担当者研修
参加者 西村 朋子（10.19-21）
- ・平成23年度中国・四国地区国立大学法人等財務会計事務研修
参加者 浪花 悠夏子（10.25-28）
- ・平成23年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議
参加者 西村 朋子、中 京子（10.28）
- ・平成23年度ハラスメント防止講演会
参加者 大元 利彦（11.9）
- ・第18回医学図書館研究会・継続教育コース
参加者 中 京子（11.9-11）
- ・第13回図書館総合展
参加者 富田 健市（11.10-11）
- ・平成23年度男女共同参画シンポジウム
参加者 大元 利彦（11.11）
- ・平成23年度国立大学図書館協会シンポジウム
参加者 遠矢 厚志（11.25）
- ・軽井沢技術ワークショップ2011
参加者 大園 隼彦（12.6-9）
- ・平成23年度全国遺跡資料リポジトリワークショップ in 福岡
参加者 山田 智美（12.17）
- ・平成23年度古典籍講習会
参加者 川上 研三（24.1.18-20）

編集委員会から

1月～2月にかけて、試験やレポートの提出時期の図書館は利用が多く、普段図書館にあまり来ない学生さんたちもたくさん来ていました。この機会に図書館が提供しているさまざまなサービスを知って、活用してほしいと思います。(K.F.)

岡山大学附属図書館報「楷」 No.54 平成24年2月29日

発行人 富田健市 編集 広報誌編集委員会

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1 電話 086-252-1111

ホームページURL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>